

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	市単独舗装新設改良事業			
予算科目	8 款	2 項	3 目	
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課: 土木管理課		電話番号(内線): 593	
記入者情報	所属長: 木曾 信之		担当責任者: 出本 宗一	
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	利用者			
事業の必要性	地元利用者からの要望により拡幅改良を実施した路線の機能向上、安全確保のため。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負	【施工場所】	市内一円	
運営方法	【運営方法】		【運営費(予定)】	
事業の目的	道路改良を実施した路線の舗装新設工事、経年劣化により通行に支障をきたしている路線の舗装改良工事 行い利用者の利便性の向上と通行の安全確保を図る。			
事業の内容	道路改良を実施した路線のアスファルト等による舗装新設工事、経年劣化により通行に支障をきたしている路線の舗装改良工事			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	地元要望路線を中心に市で調査を行い、路面劣化状況や通行の安全性を考慮し実施している。			
改善策の 具体的 取り組み	地元要望路線を中心に市で調査を行い、路面劣化状況や通行の安全性を考慮し実施している。			

事業費及び財源内訳					
項目	25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算	
事業費	直接事業費	45,707	78,954	13,855	66,259
	人件費	11,389	11,135	2,386	11,135
	合計	0	90,089	16,241	77,394
人件費 内訳	人工数	1.40	1.40	0.30	1.40
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	11,389	11,135	2,386	11,135
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	57,096	90,089	16,241	77,394

実施スケジュール							
項目	25年度以前	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
工事請負費	45,707	66,259	60,000	60,000	60,000	60,000	
年度別事業費	45,707	66,259					
財源	国・県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	45,707	66,259				
国・県支出金等名称							0

成果指標				
成果指標	工事実施箇所÷工事要望箇所＝実施率			
指標設定の考え方	地元要望箇所にする実施箇所の何割を上げることにより、市民生活の向上を図ることになる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標26年度
目標	0	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	路面性状調査等を実施し、交通量、路面の劣化状況などにより優先順位を決定し、コスト削減できるよう工法等を選定し、限られた予算の中で効率的に実施する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	担当責任者が記載のとおり。かつ、上下水道課との協議調整により、舗装が継ぎ接ぎにならないよう努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題